

事業名	母と子の発達相談事業
-----	------------

総事業費	787 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	母子保健の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	妊娠期からの子育て期における切れ目のない支援を目的に、妊娠期・産後・乳幼児期・就学期における相談支援体制の充実を図る。	
事業の実績と成果	取組内容	人生の始まりから 成長発達・人格形成の基礎となる就学期までの総合的な健康づくりの普及啓発及び個々の自立助長へ向け、切れ目のない相談体制の充実に取り組んでいる。
	成果	少子化にともない出生数の減少もある中で、育児支援・発達支援の必要な割合は増えている。保護者等が定期相談を利用したり、5歳児健診の受診率の高さからも、相談を受ける機関として認識され利用されている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	相談後のフォロー体制として関係機関との協働は必須である。また、相談体制の充実の為に、相談担当者の量的確保・スキル向上は必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	子どもの発達段階に合わせ健診・教育・相談等を実施しており、また、発達に課題のある子どもの早期発見・支援にも繋げており、子育て支援に必要な事業である。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、5歳児健診の実施の見合わせるが、園や関係機関と連携を図りながら、必要時個別に相談対応していく。 ・社会情勢を鑑みながら、個別での相談対応ができる体制を整えていく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	児童虐待防止対策事業
-----	------------

総事業費	286 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	母子保健の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		産後うつ傾向にある産婦や子育てに不安のある親や妊婦がカウンセリングを受けることによって、子どもへの向き合い方や親自身のセルフコントロール等の支援をし、また、母子保健に関わるスタッフへの研修を行うことで児童虐待を防止する。
事業の実績 と 成果	取組内容	心理専門職のカウンセリング(個別面談)を通して、不安や悩みを軽減するよう支援した。
	成 果	カウンセリングによる継続支援が多いなか、一部の相談者ではあるが関係先と連携し、個々の不安要素となる課題にともに向き合い、病院受診や訓練校へつなぐ支援もおこなった。母子健診から相談室の利用につながったケースもあった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・カウンセリング(相談する)に関する認知度が低い。誤解・偏見がある。 ・心理専門職等の人材が不足している。 ・リピート率も増えており、予約が取れない月もあった。医療手前の支援が必要なケースが少なくない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	児童虐待だけでなく成人の相談も増えていることから、令和2年度から精神保健事業として行うこととしている。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	令和2年度から精神保健事業として行う。
-----------	---------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	離島地域不妊治療支援事業
-----	--------------

総事業費	2,142 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	母子保健の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	経済的負担の軽減を図ることにより、安心して子供を産み育てる環境づくりを推進する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	産科医療機関及び保健所と連携のうえ制度の周知依頼をし、申請に結び付けた。
	成 果	11組（20件）の夫婦に対し助成金を支給した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	制度の周知についてさらに取り組む必要がある。また、年々増加傾向にあり、この先の件数が見込めないところもある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	不妊治療に取り組む市民への治療費・交通費等の助成であり、県の治療費助成と併せ、高額になる不妊治療費の軽減を図ることにより、少子化対策の一助となってる。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	不妊治療に取り組む市民へのさらなる支援体制の充実を図る。
-----------	------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	療育等支援事業
-----	---------

総事業費	426 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	子ども・子育て支援の充実
	基本事業名	母子保健の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		子育てへの不安を軽減する
事業の実績 と 成果	取組内容	保健センターで実施される健診等を通じ、支援が必要と思われる児童の保護者へ療育支援教室参加を呼びかけ、支援の方向性を定める。
	成 果	相談員による遊びの提供の中で、児童ひとりひとりの発育状況について、保健師等と情報共有し、個々に見合った支援に繋げることができる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	コスモス教室は参加者は少ないが、子育て相談員への負担は大きい。母子保健部署（健康保険課）と福祉事務所で、療育支援に関してお互いの関わり方を協議する必要がある。併せて、子育て世代包括支援センターの設置に向けての協議の中で事業内容の整理を行う。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	子供の発育に不安を抱える保護者に療育支援教室の開催等を通じて、その不安の解消の一つになっていると感じている。 医療・保健分野との連携が欠かせないところであるので、今後子育て世帯包括支援センター等の体制の在り方の検討を通じて整理を行っていきたい。

④ 改善 (Action)

2020年度方向性	支援を必要とする特性のある児童への関わり方やその方法等、庁内外関係部署、担当者間での調整を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明